

今週の言葉



選ぶ気持ちを忘れずに

就活でさんざん苦労して入社したにもかかわらず、数年のうちに辞めてしまう若者の多いことがよく問題になります。いろいろ理由は考えられるでしょうが、そのひとつとして、内定をもらうという意識がいつのまにか先方に自分を選んでもらう気持ち一辺倒になっていやしないかということがあります。



いうまでもなく、就職先を決めるのは結婚にもたとえられるとおり、一方的に相手から選ばれるわけではありません。こちらが良い相手かどうか選ぶがわでもあります。その本来持つべき主体的積極的意識が欠けていたり乏しかったりする、そのような受け身の姿勢が入社後「こんなはずじゃなかった」という結果につながっているのではないかとおもうのです。

就活では、こちら相手を見きわめ選ぶという意識をしっかり持つことが大切です。面接でも一方的に相手の質問にこたえるばかりではなく、こちらからたずねることがあっていいし、適切な質問は存在感をアピールすることになってもマイナスにはなりません。

たとえば、日本の企業はさまざまな問題をかかえています。そのひとつに有給休暇をとりにくい、とってしかるべき休暇を消化できない職場があまりに多いということがあります。これなど就職先を選択するがわにとっておおきな関心事のはずです。しかも、この問題はいまや政府が音頭をとって、実効ある対策を産業界にもとめるほどになっています。

そこで、当然だれもが気になるテーマでしかも政府が重視するような「風をうけている」問題について（なぜ重視しているかも考えてみてください）、どのように取組んでいるか質問してみるのもいいでしょう。

さらに女子のばあいには、女性が働きやすい職場への取組みを聞くのもいいですね（これも現政権が後押ししているテーマです）。

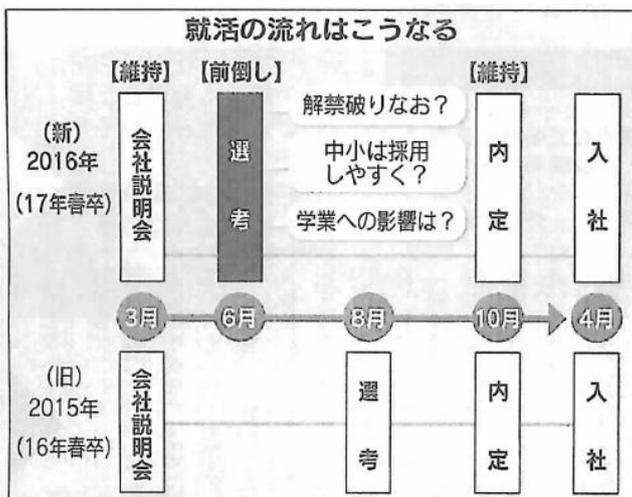
こうして選ぶことを意識すると、こちらから聞きたいことがいろいろ出てくるでしょう。面接にはあらかじめいくつかの質問を用意してのぞむことを心がけてみてください。



選ぶ意識をつよく持って後悔のない就活をしてほしいとおもいます。

キャリア設計ゼミ担当 荻 大陸

就活 面接6月解禁へ！！！！



●● 大学3回生・短大1回生にお知らせ ●●●

「Weekly就活」No.140で、既報のとおり、11月20日に経団連は来年の就活ルールについて、選考解禁時期を2ヶ月前倒しし、6月1日にすることを決定しました。（左図の日程）この日程変更に対抗していた大学側も、このルール再変更を受け入れることにしたため、この変更は決定してしまいました。

ルールの再見直しにより、今年の先輩たちが「暑くて長い就活」を耐えてきましたが、少なくとも8月の炎天下でリクルートスーツで歩き回るといふ姿は減りそうに思えます。

（また、そうであって欲しい！）

ただ、来年の就活は短期勝負になります。その対応は、できるだけ早い時期に自分の進路を見つけておくことがポイントになります。会社情報解禁（説明会など）時には、いつでもエントリーシートや履歴書が提出できるよう、準備を進めてください。

キャリアサポート室